

2024年12月27日  
マックスバリュ関東株式会社



### こども食堂を応援！ 市原市へフードバンクを開始いたします

マックスバリュ関東株式会社（本社：東京都江東区 / 代表取締役社長：島田 諭 以下、当社）は、地域の笑顔と元気を応援し続ける活動として、市原市のこども食堂へのフードバンク活動を開始いたします。

イオングループでは、「すべての子どもたちが心身ともに健やかに成長できる未来をつくりたい」という考えのもと、「イオン こども食堂応援団」の活動を続けています。当社でもこの活動と連携し、袋が破損し販売出来ないお米や、消費期限内であっても自社の販売限度日により廃棄せざるを得ない食品について、フードロス対策や地域のこども食堂活動支援のため行政やその他 NPO 法人などへ寄贈する事を検討し2024年4月30日に蕨市、7月16日に市川市へのフードバンクを開始いたしました。

その活動に引き続き、この度当社より市原市へ寄贈する事が両者協議の上合意し、12月26日に市原市 小出譲治市長へ代表取締役社長の島田諭よりお米 242.9kg を贈呈いたしました。

贈呈したお米は市原市より社会福祉協議会を通じて市内の子ども食堂様へ提供され、今後も継続して支援する運びとなりました。

これからも当社では、フードバンク活動の支援を広げ、地域のすべての子どもたちが心身ともに健やかに成長できる未来、誰もとりこぼさない社会をつくりたいと考えています。



左：市原市長 小出 譲治様 右：マックスバリュ関東代表取締役社長 島田 諭

## 「イオン こども食堂応援団」の活動について

イオンは、経済的に困難な状況に置かれた子育て世帯において、子どもたちの食の確保が恒常的に重大な課題となっていることを受け、2020年に「イオン こども食堂応援団」を立ち上げました。

イオンは、すべての子どもたちが心身ともに健やかに成長できる未来をつくりたいと考えています。こども食堂は、子どもたちの食におけるセーフティーネットであるだけでなく、地域と子どもたちを結ぶ拠点としても重要な役割を担っています。

「イオン こども食堂応援団」は、募金活動などの経済的な支援を継続すると同時に、多くの方に足を運んでいただいている店舗を持つ強みを活かし、お客さまと、地域で活動している団体や企業、学校、自治体の皆さまなどをつなぎ、地域全体でこども食堂の活動を応援するイベントなども行っています。

今後も地域の皆さまと連携し、食支援に加え、交流拠点としての役割も果たすこども食堂の活動を通じて、人と人が支え合う、共助の絆で結ばれる活気と喜びにあふれるコミュニティづくりに取り組んでまいります。

